



設計コンセプト



かつて私たち日本人は、自然の中から多くのものを学び、自然とともに生きて参りました。そして子供たちもまた、豊かな自然の中で五感が刺激されることを通じて、人間力を身につけてきたように思います。

一方、昨今の子育て環境は、安心、安全や便利さを重視するあまり、大人たちが作り上げた人工的なものに囲まれ、子供たちが日々の生活のなかで、様々な刺激を得ることは難しくなっているのではないのでしょうか。

今回の計画地には、かつてあった園舎とともに成長してきた大きな樹木が生き生きと生い茂ってありました。この大切な資産を受け継ぎ、活かしながら、「森をつくる」ことを目指しました。

竣工時は森と呼ぶにはまだまだですが、今回の計画で植樹した多くの木々たちが、これから長い年月をかけて成長し、その豊かな自然が子供たちの原風景として心に刻まれることを期待しております。

建物について



建物の配置は、既存樹木を活かしながら幅広い園庭を確保するため、東西に長い配置としました。また建物をいくつかの棟に分けて計画することで、建物の圧迫感を抑え、自然の風景に溶け込むように配慮しています。

各棟は採光・通風に配慮して計画しており、外壁の色や屋根の形を変えながらランダムに配置することで、一つの集落のようなイメージでデザインしています。また各棟は縁側のような外廊下で結ばれており、廊下の前に菜園や田んぼ、果樹棚を、そしてその先には豊かな緑を配置することで、日々の生活のなかで四季折々の様々な風景を楽しめるように計画しました。

建物まわりには、子供たちの冒険心をそそる築山、素足に心地よい芝、山野草で彩られた緑地、屋外活動をサポートする東屋や納屋などを設けて、様々な遊びが誘発されるように計画しています。

建物概要

住 所 : 茨城県龍ヶ崎市大徳町 4921 番地
敷地面積 : 3811.20㎡
延床面積 : 658.34㎡
階 数 : 平屋建て
構 造 : 木造
建 築 主 : 社会福祉法人山ゆり会
設 計 監 理 : 株式会社アルコデザインスタジオ
施 工 : 株式会社三共建設



園舎のご紹介

■エントランス

建物の玄関口として、ペンダントライトによる温かい光で、子供たちを迎え入れます。

■エントランスホール

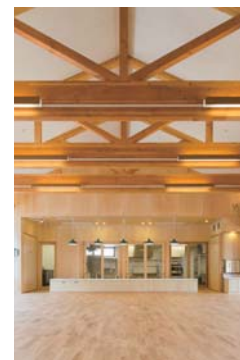
壁面一杯に本棚を設置し、丸窓の空いたロフトや出窓を設け、立体的な図書室を兼ねてデザインしています。

■遊戯室

高天井の開放的なホールです。天井の小屋根をそのまま活かすことで、木造ならではの温かい雰囲気演出しています。

■ランチルーム

子供たちが自ら調理できるキッチンカウンターを設け、調理室をガラスドアで見通し良くすることで、食に対する興味を自然に促します。



■012棟 保育室

ムクのフローリングや木板張りの壁面により、家庭的で落ち着いた雰囲気としています。北側に高窓を設けることで、日中でも明るく、風通しのよい室内環境を実現しています。

■345棟 保育室

勾配屋根をそのまま活かした開放的な保育室です。345棟は保育室間に可動間仕切を設けることで、混合保育など様々な保育に柔軟に対応できます。

